

ゴム工業における
2016年(平成28年)の新ゴム消費量(3月確定)と
2017年(平成29年)の新ゴム消費予想量

1. 2016年(平成28年)のゴム工業での新ゴム消費量

(表-1) (単位:トン)

製品別	消費量	前年比	
		前年比	構成比
タイヤ類	1,033,470	96.4%	80.9%
自動車タ・チ	1,019,800	96.4	79.8
その他のタイヤ類	13,670	95.8	1.1
工業用品類	225,970	97.8	17.7
ゴムベルト	22,020	92.8	1.7
ゴムホース	34,620	98.4	2.7
その他の工業用品	169,330	98.4	13.3
その他製品類	18,260	102.8	1.4
ゴム履物類	1,150	104.5	0.1
その他のゴム製品	17,110	102.6	1.3
合計	1,277,700	96.7	100.0

(注)その他のタイヤ類には、更生タイヤ用練生地を含む。

2. 2016年(平成28年)の消費確定量(表-1)をもとにした
2017年(平成29年)のゴム工業の新ゴム消費予想量は、
表-2のとおりとなる。

(表-2) (単位:トン)

製品別	消費予想量	前年比	
		前年比	構成比
タイヤ類	1,036,190	100.3%	80.6%
自動車タ・チ	1,021,840	100.2	79.5
その他のタイヤ類	14,350	105.0	1.1
工業用品類	230,940	102.2	18.0
ゴムベルト	21,930	99.6	1.7
ゴムホース	34,290	99.0	2.7
その他の工業用品	174,720	103.2	13.6
その他製品類	18,470	101.2	1.4
ゴム履物類	1,150	100.0	0.1
その他のゴム製品	17,320	101.2	1.3
合計	1,285,600	100.6	100.0

(注)その他のタイヤ類には、更生タイヤ用練生地を含む。

以上

<参考> 1. 2016年（平成28年）の新ゴム需給総量

3月3日開催のゴム需給調査会（下注）の検討結果を基に3月確定を反映した結果、参考表-1のとおり決定した。

（参考表-1）

（単位：トン）

		天然ゴム		合成ゴム		計	
			前年比		前年比		前年比
			%		%		%
供給	輸入	659,730	96.7	156,050	94.0	815,780	96.2
	生産(国産)	—	—	1,565,660	93.8	1,565,660	93.8
	計(A)	659,730	96.7	1,721,710	93.9	2,381,440	94.6
需要	国内消費	675,500	97.8	866,400	96.8	1,541,900	97.2
	輸出	150	53.6	854,080	107.6	854,230	107.6
	計(B)	675,650	97.7	1,720,480	101.9	2,396,130	100.7
A - B		△15,920	—	1,230	—	△14,690	—

（注1）ゴム需給調査会…経済産業省化学課、日本ゴム輸入協会、合成ゴム工業会、日本自動車タイヤ協会および当会の事務担当者で構成し、4半期ごとにわが国の新ゴム（天然ゴムおよび合成ゴム）の需給数量の総合検討にあたっている。

<参考> 2. 2016年（平成28年）のゴム工業とゴム工業以外での新ゴム消費量

（参考表-2）

（単位：トン）

		天然ゴム		合成ゴム		計		構成比	合成ゴム 使用比率
			前年比		前年比		前年比		
			%		%		%	%	%
ゴム工業		661,500	97.7	616,200	95.7	1,277,700	96.7	82.9	48.2
ゴム工業以外		14,000	100.0	250,200	99.6	264,200	99.6	17.1	94.7
計		675,500	97.8	866,400	96.8	1,541,900	97.2	100.0	56.2

（注1）「ゴム工業以外」とあるのは、紙加工、合成樹脂製造ブレンド、接着剤および繊維処理等に消費される分とする。